

現 行 (H21. 3)

写真管理基準（案）

国 土 交 通 省

改定 (H23. 3)

写真管理基準（案）

国 土 交 通 省

平成 2 3 年

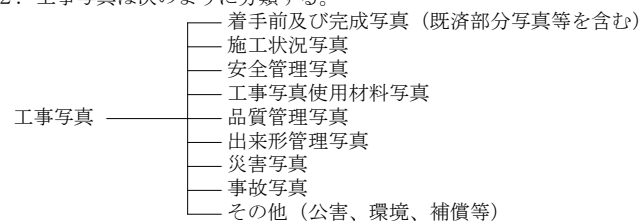
写 真 管 理 基 準 (案)

(適用範囲)

1. この写真管理基準は、土木工事施工管理基準7に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。

(工事写真の分類)

2. 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工 事 名
- ② 工 種 等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設 計 寸 法
- ⑤ 実 測 寸 法
- ⑥ 略 図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

なお、施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理を行う場合は、上記の④～⑥を省略しても良い。

(写真の省略)

4. 工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を細別ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

(写真の色彩)

5. 写真はカラーとする。

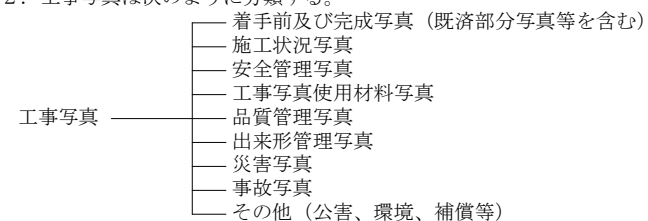
写 真 管 理 基 準 (案)

(適用範囲)

1. この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。

(工事写真の分類)

2. 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工 事 名
- ② 工 種 等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設 計 寸 法
- ⑤ 実 測 寸 法
- ⑥ 略 図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

なお、施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理を行う場合は、上記の④～⑥を省略しても良い。

(写真の省略)

4. 工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

(写真の色彩)

5. 写真はカラーとする。

現 行 (H21. 3)

(写真の大きさ)

6. 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

(1) 着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真(つなぎ写真可)とすることができる。

(2) 監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

(工事写真帳の大きさ)

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

8. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

(1) 工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各1部提出する。

(2) 原本としては、ネガ(APSの場合はカートリッジフィルム)または電子媒体とする。

(工事写真の整理方法)

9. 工事写真の整理方法は次によるものとする。

(1) 工事写真の原本をネガで提出する場合は密着写真とともにネガアルバムに、撮影内容等がわかるように整理し提出する。APSのカートリッジフィルムで提出する場合はカートリッジフィルム内の撮影内容がわかるように明示し、インデックス・プリントとともに提出する。

(2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の提出頻度に示すものを標準とする。

なお、提出頻度とは請負者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。

(3) 電子媒体での提出で、監督職員の承諾があれば工事写真帳の提出を省略できる。

(電子媒体に記録する工事写真)

10. 電子媒体に記録する工事写真の属性情報等については、「デジタル写真管理情報基準(案)」によるものとする。

(留意事項等)

11. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

(1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容により不適切な場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

(2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。

(3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。

(4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等をアルバムに添付する。

(5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員の承諾を得て取り扱いを定めるものとする。

(その他)

12. 用語の定義

(1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所を示すもので、監督職員の承諾した箇所をいう。

(2) 適宜提出とは、監督職員が指示した箇所を提出することをいう。

(3) 提出頻度の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

改定 (H23. 3)

(写真の大きさ)

6. 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督職員が指示するのは、その指示した大きさとする。

(工事写真帳の大きさ)

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

8. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

(1) 工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各1部提出する。

(2) 原本としては、ネガ(APSの場合はカートリッジフィルム)または電子媒体とする。

(工事写真の整理方法)

9. 工事写真の整理方法は次によるものとする。

(1) 工事写真の原本をネガで提出する場合は密着写真とともにネガアルバムに、撮影内容等がわかるように整理し提出する。APSのカートリッジフィルムで提出する場合はカートリッジフィルム内の撮影内容がわかるように明示し、インデックス・プリントとともに提出する。

(2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の整理条件に示すものを標準とする。

なお、整理条件とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。

(3) 工事写真の原本を電子媒体で提出する場合は、「デジタル写真管理情報基準(案)」に基づき整理し提出するものとする。

この場合、工事写真帳の提出は不要とする。

(留意事項等)

10. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

(1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

(2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。

(3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。

(4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等を工事写真帳に添付する。

(5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

(その他)

11. 用語の定義

(1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。

(2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。

(3) 整理条件の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

現 行 (H21.3)

撮 影 箇 所 一 覧 表

区分	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1 回 〔着手前〕	着手前 1 枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1 回 〔完成後〕	施工完了後 1 枚	
施工状況写真	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月 1 回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜	
			高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に 1 回 〔施工前後〕	代表箇所 1 枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕	不要	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に 1 回 〔設置後〕	全景 1 枚	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に 1 回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各 1 回 〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に 1 回 〔実施中〕	不要	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法	各品目毎に 1 回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		検査実施状況	各品目毎に 1 回 〔検査時〕		
品質管理写真	別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に記載				
出来形管理写真	別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載				
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	

改 定 (H23.3)

撮 影 箇 所 一 覧 表

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1 回 〔着手前〕	着手前 1 枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1 回 〔完成後〕	施工完了後 1 枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月 1 回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に 1 回 〔施工前後〕	代表箇所 1 枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕	不要	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に 1 回 〔設置後〕	不要	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に 1 回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各 1 回 〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に 1 回 〔実施中〕	不要	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法	各品目毎に 1 回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		使用数量 保管状況	各品目毎に 1 回		
		品質証明(JISマーク表示) 検査実施状況	各品目毎に 1 回 〔検査時〕		
品質管理		別添 撮影箇所一覧表(品質管理)に準じて撮影			
		不可視部分の施工			適宜
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表(出来形管理)に準じて撮影			
		不可視部分の施工			適宜
		出来形管理基準が定められていない 監督職員と協議事項			
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	

現 行 (H21.3)

事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	着手前は 付近の写 真でも可
その他	補償関係	被害又は損害 状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状 況	各種毎 1 回 〔設置後〕	適宜	

改 定 (H23.3)

事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は 付近の写 真でも可
その他	補償関係	被害又は損害 状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状 況	各種毎 1 回 〔設置後〕	適宜	

現 行(H21.3)

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工)	コンクリートの圧縮強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
22	コンクリートダム(施工)	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		
24	吹付けコンクリート (NATM)	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		
30	ガス切断工	表面粗さ ノッチ深さ スラグ 上縁の溶け 平面度 ベベル精度 真直度	試験毎に1回 [試験実施中]	不要	
31	溶接工	引張試験 型曲げ試験 衝撃試験 マクロ試験 非破壊試験 突合せ継手の内部欠陥に 対する検査 外観検査 曲げ試験 ハンマー打撃試験	試験毎に1回 [試験実施中] 外観検査が不合格となった スタッドジベルについて[試験 実施中]	不要	
32	工場製作工	外観検査 在庫品切出 機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 [現物照合時] 当初の物件で1枚[切出 時]※他は焼き増し 1橋に1回又は1工事に1回 [試験実施中]	不要	

改 定(H23.3)

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	整理条件	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工)	コンクリートの圧縮強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		圧縮強度試験に使用した コンクリートの 供試体が、当該現場の供 試体であることが確認できるもの
22	コンクリートダム(施工)	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		圧縮強度試験に使用した コンクリートの 供試体が、当該現場の供 試体であることが確認できるもの
24	吹付けコンクリート (NATM)	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		圧縮強度試験に使用した コンクリートの 供試体が、当該現場の供 試体であることが確認できるもの
30	工場製作工	外観検査 在庫品切出 機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 [現物照合時] 当初の物件で1枚[切出 時]※他は焼き増し 1橋に1回又は1工事に1回 [試験実施中]	不要	
31	ガス切断工	表面粗さ ノッチ深さ スラグ 上縁の溶け 平面度 ベベル精度 真直度	試験毎に1回 [試験実施中]	不要	
32	溶接工	引張試験 型曲げ試験 衝撃試験 マクロ試験 非破壊試験 突合せ継手の内部欠陥に 対する検査 外観検査 曲げ試験 ハンマー打撃試験	試験毎に1回 [試験実施中] 外観検査が不合格となった スタッドジベルについて[試験 実施中]	不要	

現 行(H21.3)

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	5		緑石工(緑石・アスカープ)	施工状況	種別毎に1回 〔施工中〕	不要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	9		区画線工	施工状況	施工日に1回 〔施工前後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	7 8		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーバードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 施工状況	200㎡又は1施工箇所に1回 〔打込み前後、施工中〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	5	土留・仮締切工(中詰盛土)	施工状況	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	22		法面吹付工		第3編2-3-6吹付工に準ずる		

改 定(H23.3)

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	5		緑石工(緑石・アスカープ)	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	不要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	9		区画線工	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	7 8		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーバードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1施工箇所に1回 〔打込み前後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	5	土留・仮締切工(中詰盛土)	出来ばえ	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	22		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工に準ずる		

現 行(H21.3)

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所1回 〔施工後〕		
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕		
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	11		グルーピング工	施工状況	施工日に1回 〔施工前後〕	不要	
10 道 路 編	16 道 路 修 繕	22 橋 梁 付 属 物 工	4		落橋防止装置工	施工状況	適宜（施工中）		

改 定(H23.3)

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	整理条件	
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕		
10 道 路 編	14 道 路 維 持	4 舗 装 工	11		グルーピング工	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	不要	
10 道 路 編	16 道 路 修 繕	22 橋 梁 付 属 物 工	4		落橋防止装置工	出来ばえ	適宜（施工中）		

現 行(H21.3)

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
その他				維持 修繕 繕工 関係	道路除草	施工状況	5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	
					路肩整正	施工状況	1kmに1回	適宜	
					新設、更新、修理防護柵類	施工状況	1施工箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					新設、更新、修理標識類	施工状況	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					新設、更新、修理照明灯	施工状況	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜	
					視線誘導標	施工状況	施工日に1回〔施工後〕	適宜	
					清掃(路面、標識、側溝、集水溝)	施工状況	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	
					区画線路面表示	施工状況	施工日に1回〔施工前後〕	適宜	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	
					街路樹植樹	施工状況	適宜〔施工前後〕	適宜	
					街路樹補強補植	施工状況	適宜〔施工前後〕	適宜	
					街路樹剪り	施工状況	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前	適宜	
					街路樹消毒、施肥	施工状況	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工	適宜	
					街路樹雪囲	施工状況	適宜〔施工後〕	適宜	
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 施工中	適宜	
					凍結防止剤散布	施工状況	施工中に1回 施工中	適宜	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	
					河川除草	施工状況、刈草 処理状況	1kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	

改 定(H23.3)

【その他】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件		
その他				維持 修繕 繕工 関係	道路除草	出来ばえ	5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜		
					路肩整正	出来ばえ	1kmに1回	適宜		
					新設、更新、修理防護柵類	出来ばえ	1施工箇所(1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜		
					新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜		
					新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	適宜		
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回〔施工後〕	適宜		
					清掃(路面、標識、側溝、集水溝)	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	適宜		
					区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	適宜		
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜		
					街路樹植樹	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					街路樹補強補植	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜		
					街路樹剪り	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前	適宜		
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工	適宜		
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜〔施工後〕	適宜		
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 施工中	適宜		
						凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 施工中	適宜	
							材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	
				河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜			